

学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

（1）学部共通

学部学生は本学に在学中、授業のみならず立命館アジア太平洋大学（APU）という多文化キャンパスが内包するすべての学びの機会を活かし、卒業後に世界に寄与するための知識、スキル、態度を身につけることが望まれる。APU に在学する学部学生はそれぞれがこの多文化キャンパスでの積極的な交流を基に大学コミュニティ構成員全体の学びに対して貢献することが要求される。

このような学びを行うために、APU に入学する学部学生は、以下を有する必要がある。

- 1) コミュニケーションツールとしての日本語または英語の基本的能力
- 2) 反対言語学習に対する強い意欲と適性
- 3) 大学での学習に必要な基本的知識
- 4) 分析力、想像力、実地的な問題解決能力の適性
- 5) すべての学びの機会を積極的に活用する意欲
- 6) 多文化環境での共生の適性

さらに、それぞれの学部においては、以下の側面を有する必要がある。

① アジア太平洋学部

- 1) 多くの情報を統合し、多角的に物事を考え、それをまとめあげる力
- 2) アジア太平洋地域の社会文化についての興味・関心
- 3) 21 世紀の社会に関する洞察力

② 国際経営学部

- 1) ビジネスについての興味・関心
- 2) 高い倫理性を持ち、ビジネスによるアジア太平洋地域の発展に関する関心
- 3) 21 世紀の社会に関する洞察力

入学審査においては、上記の能力、知識、適性、意欲を総合的に判断するために、多角的な審査方法を用い、APU における学びに適した学部学生を受け入れる。

（2）大学院

大学院学生は在学中、授業のみならず APU という多文化キャンパスが内包するすべての学びの機会を活かし、卒業後に世界に寄与するための各々の研究科で修める知識、スキル、態度を身につけることが望まれる。APU に在学する大学院学生はそれぞれがこの多文化キャンパスでの積極的な交流を基に大学コミュニティ構成員全体の学びに対して貢献することが要求される。

このような学びを行うために、APU に入学する大学院学生は、以下を有する必要がある。

る。

- 1) 学修およびコミュニケーションツールとしての英語能力
- 2) それぞれの研究科・専攻における高度な学修に必要な専門の総合的な知識
- 3) 分析力、洞察力、課題を実際的に解決する能力と適性
- 4) すべての学びの機会を積極的に活用する意欲
- 5) 多文化環境での共生の適性

さらに、それぞれの研究科・専攻においては、以下の側面を有する必要がある。

① アジア太平洋研究科 前期課程 アジア太平洋学専攻

- 1) アジア太平洋地域が発展する上で必要となる国際関係、社会・文化等に関する専門領域の研究における高い水準の関心
- 2) アジア太平洋地域の持続的発展と共生への貢献に対する強い意欲

② アジア太平洋研究科 前期課程 国際協力政策専攻

- 1) アジア太平洋地域が発展する上で必要となる行政、環境、開発、健康、観光等に関する専門領域の研究における高い水準の関心
- 2) アジア太平洋地域の持続的発展と共生への貢献に対する強い意欲

③ アジア太平洋研究科 後期課程 アジア太平洋学専攻

- 1) アジア太平洋地域が発展する上で必要となる、新たな学問領域を切り拓くことへの高い水準の関心
- 2) 自立した研究者として、新たな学術の理論および応用をきわめる能力と適正
- 3) アジア太平洋地域の持続的発展と共生への貢献に対する強い意欲

④ 経営管理研究科

- 1) アジア太平洋地域における企業やその他組織に関する経営上の諸課題の解決における高い水準の関心
- 2) 高い倫理性を持ち、総合的マネジメント人材またはリーダーとして、アジア太平洋地域の持続的発展への貢献に対する強い意欲

入学審査においては、上記の能力、知識、適性、意欲を総合的に判断するために、多角的な審査方法を用い、APUにおける学びに適した大学院学生を受け入れる。